

7 広域的な取組

(1) 流域治水

令和2年度から、流域全体のあらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」の取組を進めている。

一級水系河川である多摩川、鶴見川、相模川では国及び関係市町と一体となって、二級水系河川である帷子川、大岡川、境川、引地川及び酒匂川では県が中心となって関係市町と連携を図りながら対策を推進している。

表7 流域治水プロジェクトの取組状況（2021（令和3）年10月末現在）

区分	水系名	主な協議会構成団体(予定を含む)	プロジェクト公表状況
一級水系	多摩川	国土交通省、東京都、神奈川県、31市区町村	令和3年3月30日公表
	鶴見川	国土交通省、東京都、神奈川県、4市	令和3年3月30日公表
	相模川	国土交通省、山梨県、神奈川県、24市町村	令和3年3月30日公表
二級水系	帷子川	神奈川県、横浜市	令和3年9月22日公表
	大岡川	神奈川県、横浜市	令和3年9月22日公表
	田越川	神奈川県、逗子市	
	境川	神奈川県、東京都、6市	令和3年9月22日公表
	引地川	神奈川県、6市	令和3年3月30日公表
	金目川	神奈川県、6市町	
	葛川	神奈川県、5市町	
	森戸川	神奈川県、3市町	
	酒匂川	神奈川県、7市町等	令和3年9月22日公表
	山王川	神奈川県、小田原市	
	早川	神奈川県、2市町	

図23 流域治水の概要



(出典：気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について 答申 報道発表添付資料)

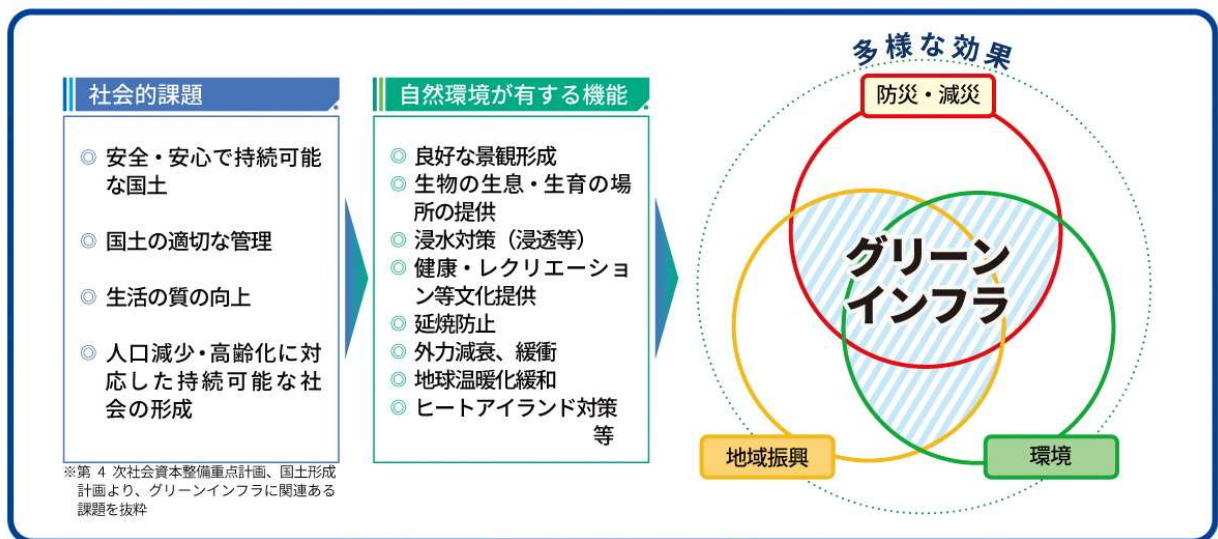
(2) グリーンインフラ

「グリーンインフラ」とは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組である。

神奈川県では、東の三浦半島から西の箱根まで緑が多く存在し、バランスよく配置されている。

2015（平成 27）年の都市公園、農地、山林の都市計画区域内における面積割合をみると、三浦半島地域、湘南地域、県西地域等で 50%を超える市町が存在している。

図 24 グリーンインフラの考え方



◎ 防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供への貢献等、地域課題への対応

◎ 持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

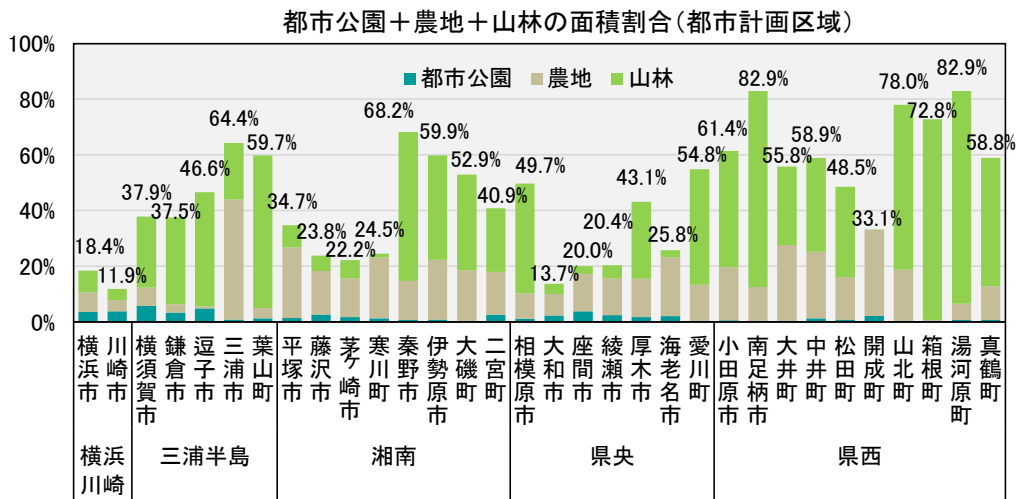
（出典：国土交通省 HP）

図 25 都市公園、農地、山林の分布（2015（平成 27）年）



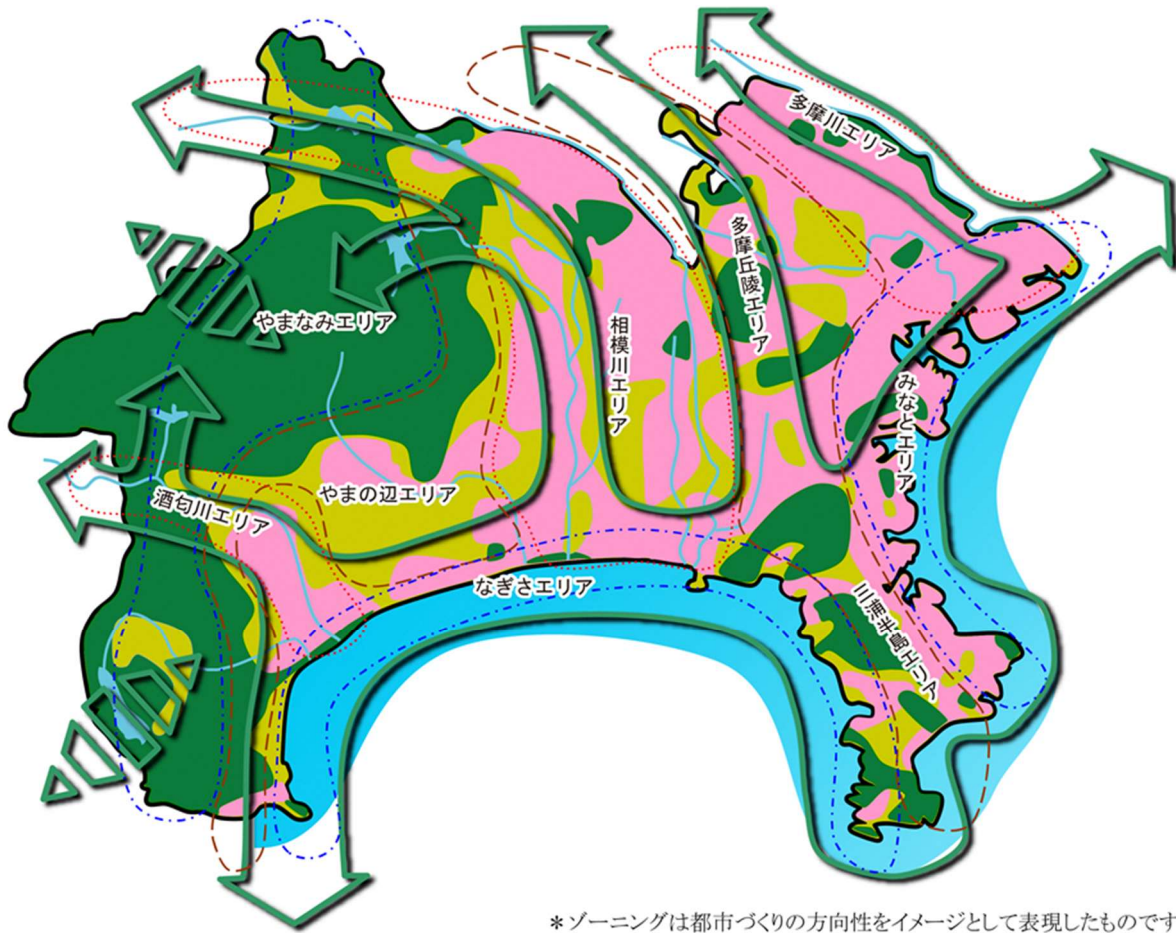
（資料：神奈川県河川課 HP、都市計画基礎調査、国土数値情報）

図 26 都市公園、農地、山林の面積割合（都市計画区域）（2015（平成 27）年）



（資料：都市計画基礎調査）

図 27 「かながわ都市マスタープラン」における環境と共生した都市づくり



凡例			地勢的な広がりエリア
複合市街地ゾーン	水とみどりのネットワーク	海・山を中心とするエリア	河川を中心とするエリア
環境調和ゾーン	県域を越える山なみエリアの連続性	丘陵を中心とするエリア	
自然的環境保全ゾーン	主要な河川		

(出典：かながわ都市マスタープラン)

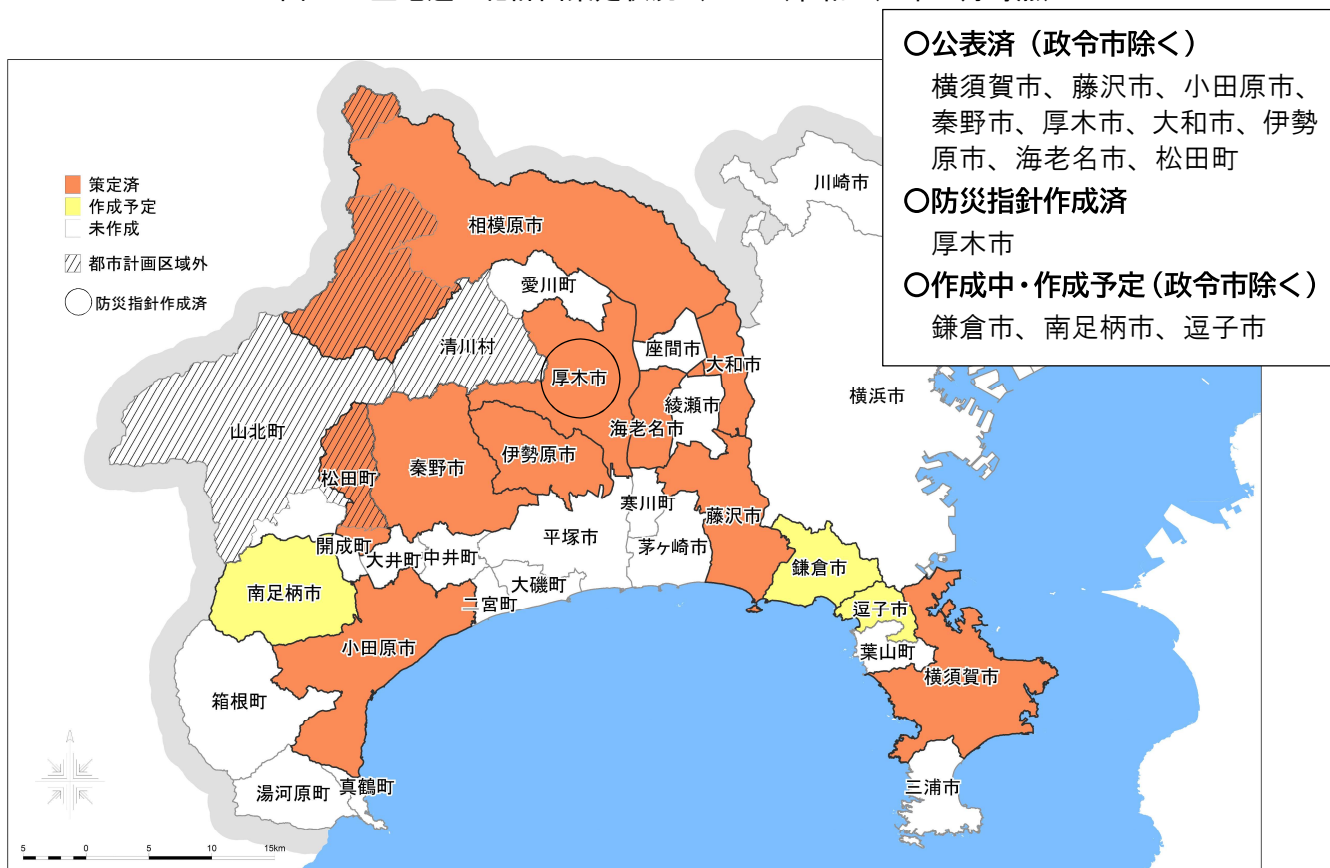
8 市町の計画策定状況

(1) 立地適正化計画の策定状況

2021（令和3）年7月時点の県内29市町（全33市町村のうち政令市3市及び都市計画区域外の清川村を除く）を対象として立地適正化計画の作成意向を調査したところ、「公表済」が9市町、「作成中・作成予定」が3市町、「作成を検討中」が11市町であった。

また、公表済の9市町のうち、1市（厚木市）が防災指針を作成済であった。

図28 立地適正化計画策定状況（2021（令和3）年7月時点）

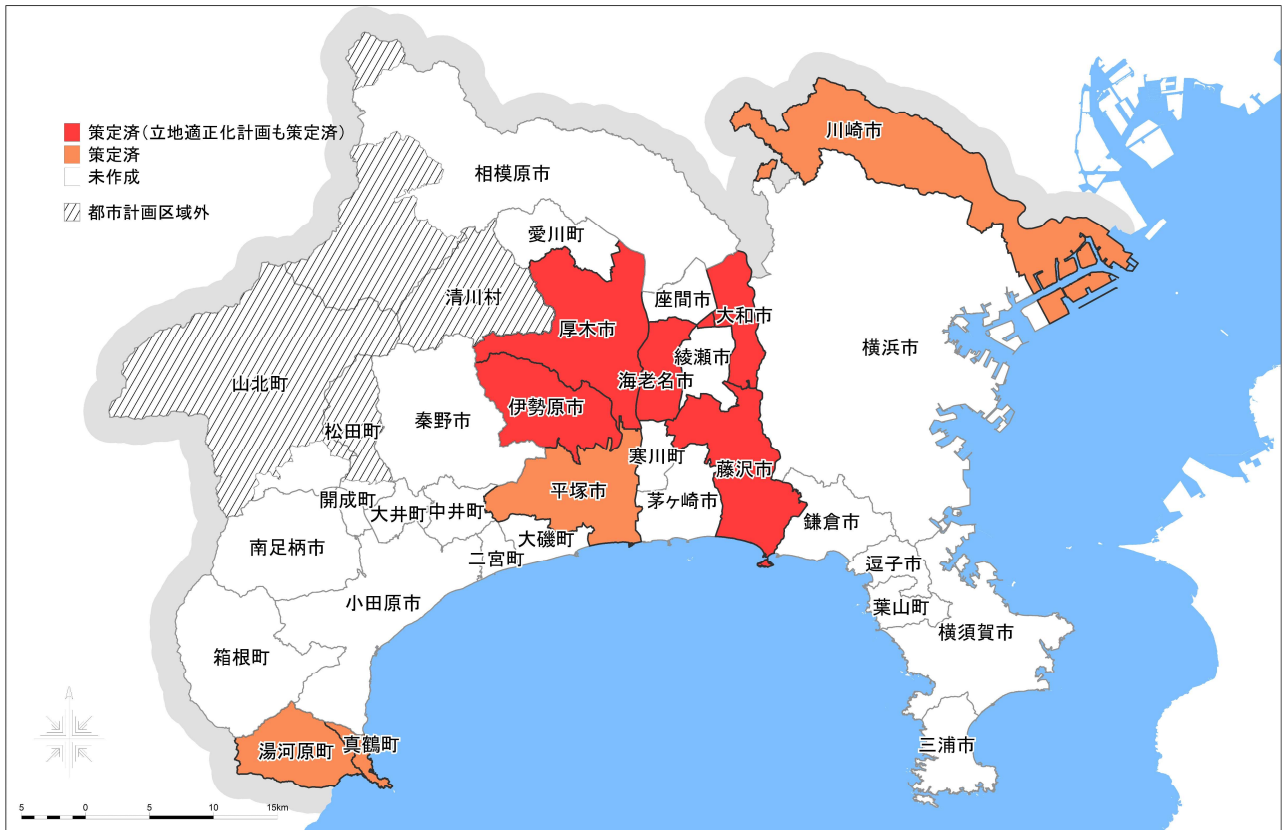


（資料：第24回立地適正化計画の作成意向等調査（国土交通省））

(2) 地域公共交通計画の策定状況

2021（令和3）年5月時点で、地域公共交通計画は、9市町で策定済みであり、そのうち立地適正化計画を策定しているのは5市（大和市、藤沢市、海老名市、厚木市、伊勢原市）である。

図 29 地域公共交通計画策定状況（2021（令和3）年5月時点）



（資料：地域公共交通計画等作成状況について（関東運輸局管内）、国土交通省）